



合同公開シンポジウム

入場無料・来聴歓迎

学術総合センター 一橋記念講堂 東京都千代田区

1月30日(月) 12:50-13:00 挨拶

13:00 **がん研究の最先端 1**
15:00 座長 落合淳志・南 康博

- 大島 正伸 金沢大・がん進展制御研 腫瘍遺伝学
炎症性微小環境の形成と消化管発がん
- 上條 岳彦 千葉がんセ・研 発がん制御
がん幹細胞マーカーCD133の発がんにおける機能とそのメカニズム
- 菊池 章 阪大・院医 分子病態生化学
がんにおける分子標的としてのWnt5a
- 高橋 雅英 名大・院医 分子病理学
アクチン結合蛋白Girdinおよびそのファミリー分子による細胞運動制御機構

15:30 **若手研究者Cutting edge 1**
17:35 座長 北林一生・稲澤譲治

- 菊繁 吉謙 九大・院医 病態修復内科学
造血器腫瘍における多段階発症機構：造血幹細胞から獲得される遺伝子異常の役割
- 下野 洋平 神戸大・院医 分子細胞生物学
遺伝子発現解析からみたヒトがん幹細胞の幹細胞性
- 中田慎一郎 慶應大・医・総合医科学研究セ
DNA二本鎖損傷応答におけるクロマチンユビキチン化制御
- 鈴木 洋 東大・院医 分子病理学
microRNAシステムの異常と腫瘍病態のクロストーク
- 高橋 昌史 東大・院医 微生物学
がんタンパク質SHP2によるCdc73/parafibromin脱リン酸化を介したWnt経路活性化機構

お問い合わせ先
財団法人 がん研究振興財団
<http://www.fpcr.or.jp>

文部科学省新学術領域研究「がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動」
総括支援活動班 事務局
〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31がん研内
Tel: (03) 3570-0518 Fax: (03) 3570-0519
E-mail: ganshien@jfc.or.jp
<http://ganshien.umin.jp>

1月31日(火)

9:30 **がんの基礎研究からTRへ**
12:00 [ミニワークショップ] 座長 清木元治・中川原章

- 中山 敬一 九大・生医研・分子医科学
がん幹細胞と細胞周期：
"G0期追出し療法"によるがん根治の可能性
- 佐藤 靖史 東北大・加齢研 腫瘍循環
Vasohibinファミリーを応用したがん治療法の開発研究
- 河野 隆志 国立がん研セ・研・ゲノム生物学
発がんとはがん治療に影響を与えるクロマチンリモデリング遺伝子
- 近藤 豊 愛知がんセ・研 分子腫瘍
がん細胞のエピゲノム異常を標的とした新しい治療戦略
- 八尾 良司 がん研究会・がん研 細胞生物
細胞分裂の基礎研究と臨床応用への展開

13:10 **若手研究者Cutting edge 2**
14:50 座長 松岡雅雄・安井 弥

- 吉田 清嗣 東京医歯大・難治研・分子遺伝
細胞死誘導と細胞周期制御による発癌抑制の分子機構
- 神谷 真子 東大・院医 生体情報学
蛍光プローブの論理的開発と癌蛍光イメージングへの応用
- 井上真奈美 国立がん研セ・予防
日本人におけるがんの要因の寄与-その量的推定
- 松田 浩一 東大・医科研 シークエンス技術開発
ゲノムワイド関連解析による癌感受性遺伝子の探索

15:20 **がん研究の最先端 2**
16:50 座長 小川誠司・相村春彦

- 横山 明彦 京大・院医メディカルイノベーション・悪性制御
MLL白血病の発症メカニズム
- 柴田 龍弘 国立がん研セ・研・がんゲノミクス
全ゲノム解読から見える新たながんゲノム像
- 井倉 毅 京大・放射線生物研究セ・突然変異機構
クロマチンの動的変化を介したDNA損傷応答シグナルのエピジェネティック制御

16:50-17:00 挨拶